

茅野で「ウクライナの子どもたちの絵画展」



茅野市役所ロビーで始まった「ウクライナの子どもたちの絵画展」。
講演会やコンサートへの来場も呼び掛ける関係者

平和への願い伝わる

会期中講演会やコカリナ演奏会も

くるみーずと全国簡易トイレ普及協会

ウクライナの子どもたちを支援するコカリナ（木のオカリナ）愛好者グループ「くるみーず」（唐澤なおみ代表）と全国簡易トイレ普及協会（地村健太郎代表理事）主催の「ウクライナの子どもたちの絵画展」が5日、茅野市役所1階ロビーで始まった。8日まで行つた後、市中央公民館で15日まで、続いて27日まで市内の諏訪信用金庫4支店に分散して展示。会期中には、ロシアのウクライナ侵攻直後から人道支援を続けている千曲市出身、ポーランド在住の坂本龍太郎さん（39）の講演会や、コカリナコンサートもあり、来場を呼び掛けている。

（武井葉子）

ウクライナの子どもたちの支援は日本コカリナ協会が「ひまわりプロジェクト」を立ち上げて行っており、坂本さんが公認講師を務める縁で、くるみーずも参加。被災地支援などに取り組む同普及ハトやヒマワリ、桜、日の丸、

地球、傷ついた母子など約60点。文字は理解できずとも子どもたちの平和への願いが伝わる。

10日は午後2時から、市中央公民館でコカリナミニコンサート。講演会は12日午後1時から、ゆいわーく茅野で開き、ワルシャワ日本語学校教頭、ポーランド日本語教師会事務局長でもある坂本さんが「今、ウクライナの子どもたちは」と題して話す。終了後コカリナミニコンサート。募

金箱も置く。入場無料。

唐澤代表と地村代表理事とともに茅野市は「地元での講演会は初。まだ復興は途中。ニュースに載ってこない現状も知ってほしい、ウクライナを忘れないで」と話す。